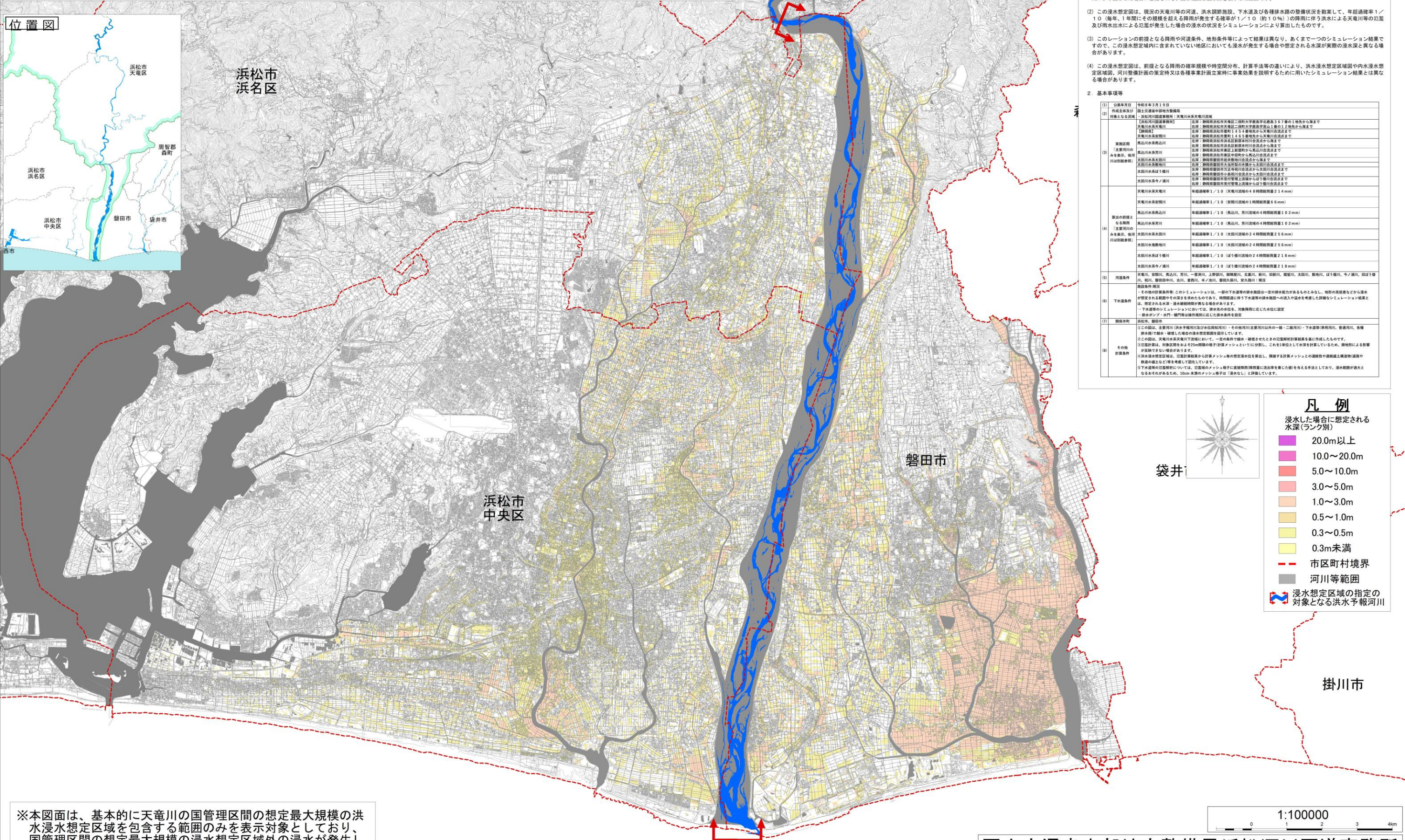
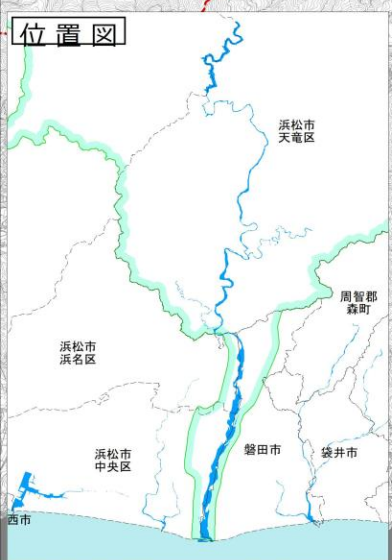


天竜川水系 内外水統合の浸水想定図 (1/10規模降雨)

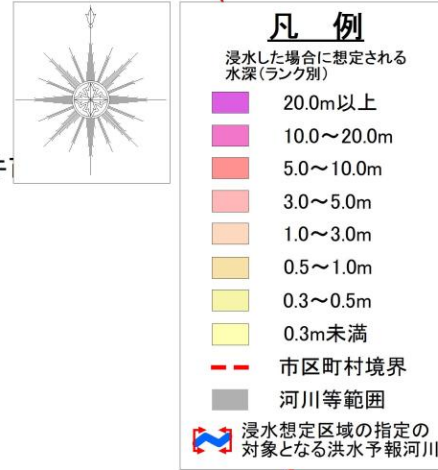


1. 説明文

- この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
- この浸水想定図は、現在の天竜川等の河道、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を踏まえて、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10(約10%)の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- このシミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
- この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日	令和8年3月19日
(2) 作成主体及び対象となる流域	国土交通省中部地方整備局 【天竜川(国管理区間)】 左岸：静岡県浜松市天竜区二河町大字藤島字北高島367番の1地先から海まで 天竜川(天竜川) 右岸：静岡県浜松市天竜区二河町大字藤島字北高島1番の1地先から海まで 【磐田川】 左岸：静岡県浜松市磐田市454番地先から天竜川合流点まで 天竜川水系磐田川 右岸：静岡県浜松市磐田市3465番地先から天竜川合流点まで 【主要河川のみを表示、他河川は別紙参照】 馬込川水系馬込川 左岸：静岡県浜松市磐田区新原町川合流点から海まで 天竜川水系馬込川 右岸：静岡県浜松市磐田区新原町川合流点から馬込川合流点まで 天竜川水系芳川 左岸：静岡県浜松市磐田区上野町から馬込川合流点まで 右岸：静岡県浜松市磐田区上野町から馬込川合流点まで 天竜川水系太田川 左岸：静岡県磐田市大井町所沢の太田川合流点まで 右岸：静岡県磐田市大井町所沢の太田川合流点まで 天竜川水系ぼら川 左岸：静岡県磐田市小島川川合流点から太田川合流点まで 右岸：静岡県磐田市小島川川合流点から太田川合流点まで 天竜川水系今ノ瀬川 左岸：静岡県磐田市今ノ瀬川合流点まで 右岸：静岡県磐田市今ノ瀬川合流点まで
(3) 算出の前提となる降雨	天竜川水系天竜川 年超過確率1/10(天竜川流域の4.8時間総雨量214mm) 天竜川水系磐田川 年超過確率1/10(磐田川流域の1時間総雨量66mm) 馬込川水系馬込川 年超過確率1/10(馬込川、芳川流域の4時間総雨量102mm) 天竜川水系芳川 年超過確率1/10(馬込川、芳川流域の4時間総雨量102mm) 天竜川水系太田川 年超過確率1/10(太田川流域の2.4時間総雨量256mm) 天竜川水系敷地川 年超過確率1/10(太田川流域の2.4時間総雨量256mm) 天竜川水系ぼら川 年超過確率1/10(ぼら川流域の2.4時間総雨量218mm) 天竜川水系今ノ瀬川 年超過確率1/10(ぼら川流域の2.4時間総雨量218mm)
(4) 河道条件	天竜川、磐田川、馬込川、芳川、一宮河川、上野河川、御殿屋川、北高島川、新川、田新川、菅野川、太田川、敷地川、ぼら川、今ノ瀬川、田ほろ川、荒川、磐田川、高島川、西川、中ノ瀬川、磐田久保川、袋井川、御殿川
(5) 解算条件	解算条件状況 ・その他の計算条件等：このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めるものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や浸水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される浸水深・浸水範囲が異なる場合があります。 ・下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定 ・排水ポンプ・水門・樋門等は操作前に応じた排水条件を設定
(6) 関涉市町	浜松市、磐田市
(7) その他計算条件	1.この図は、主要河川(洪水予報河川及び水位監視河川)・その他河川(主要河川以外の一級、二級河川)・下水道等(専用河川、普通河川、各種排水路)で浸水・氾濫した場合の浸水想定図を表示しています。 2.この図は、天竜川水系天竜川下流域において、一定の条件で洪水・浸水・氾濫を想定した結果を基に作成したものです。 3.浸水計算は、対象区域をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュ)として分割し、これを1単位として浸水深を計算しているため、微地形による影響が及ぼさない場合があります。 4.浸水想定区域は、浸水計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水深を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続した浸水区域(道路や鉄道の線など)等を考慮して設定しています。 5.下水道等の浸水計算については、浸水区域のメッシュ格子に直接降雨(隣接する浸水区域)を算出した浸水率を算出した浸水率を算出し、浸水範囲と浸水深となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。



※本図面は、基本的に天竜川の国管理区間の想定最大規模の洪水浸水想定区域を包含する範囲のみを表示対象としており、国管理区間の想定最大規模の浸水想定区域外の浸水が発生しないことを意図するものではありません。